

ほけんだより

9月



本校ホームページにカラーで掲載中！

埼玉大学教育学部
附属特別支援学校
保健室
R4.9.12

こころとからだの学習の
「体の部位の名称と働き」について、
「数の学び」と合わせて取り組んでいます！

9月のお話と体操をおこないました。

まず、7月の振り返りをしました。

「首、首、首、首の骨、

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7

首から小さくおじぎして、

頭のとっぺんに手を置いて、

1, 2, 3, 4, 5, 6, 7、 7番目の骨、触れるよ。」

という唄を歌って、首の骨は7つあって、7番目の骨は

手で触れることを思い出しました。



そして、8月は夏休み。

夏休みは、あっという間に過ぎて行き…



次は、9月のお話です。
体の中の9つあるところについて、大脳を紹介しました。

大脳は、9つの仕事を9つの部屋にわかれて行っています。

どんな風に分かれているか、
どんな仕事をしているのか、模造紙を使って説明しました。



また、地震が起きたときのダンゴムシのポーズをみてもらい、頭のところに手があるのは、大切な働きをしている大脳をまもるため…というお話もしました。



そして、今月の体操では、歌とウッドブロックの3拍子に合わせて、大脳の仕事をイメージしたポーズ、手拍子、



足の曲げ伸ばしをして体を動かしました。

※9月のお話は、「小学館の図鑑・NEO 人間のちの歴史」を参考にして考えました。

【性に関する指導とのつながり】

子どものからだから大人のからだへ変化することを子どもたちに教える時、「ホルモン」という言葉を使わずに説明することもできますが、「脳」の働きと「ホルモン」の働きについて説明を加えることもあります。今回の「大脳」のお話はその前段階のお話になればよいなと思っています。

また、性の逸脱行為を回避するときには、脳の働きが欠かせません。脳を休ませ、しっかりと働かせるためには、睡眠が必要です。睡眠のリズム(基本的生活習慣)が性のコントロールの基盤を作ることにつながっているといえるのではないのでしょうか。

「睡眠」についての「学び場ポケット」※が増えてきました。保健室入ってすぐ右側の「大人の学び場」で、是非チェックしてみてください。来室をお待ちしております。

※「学び場ポケット」

こころとからだの(つながりが分かる)計画の各項目に関連する資料が綴じてあるファイルです。

